

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	ネマキック液剤
製品コード	AK3004J
会社名	アグロ カネショウ株式会社
住所	〒107-0052 東京都港区赤坂4-2-19 赤坂サステイスト7F
電話番号	03-5570-4711 (所沢事業所:04-2003-7006)
緊急時の電話番号	同上
FAX番号	03-5570-4708 (所沢事業所:04-2003-7302)
メールアドレス	toiawase@agrokanesho.co.jp
推奨用途及び使用上の制限	農薬(殺線虫剤)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	自然発火性液体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分4
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分1(全身性、神経系)
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1(神経系)
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分2
	水生環境慢性有害性	区分2
	※記載がないものは「分類対象外」または「分類できない」	

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H302 飲み込むと有害
 H370 全身性または神経系の障害
 H372 長期間にわたる、または、反復暴露による神経系の障害
 H401 水生生物に毒性
 H411 長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

P264 取扱い後よく手を洗うこと。
 P270 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 P260 ミストや蒸気を吸入しないこと。
 P273 必要なとき以外は、環境への放出は避けること。

【応急措置】

P301+P312 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 P330 口をすすぐこと。
 P308+P311 暴露または暴露の懸念がある場合: 医師に連絡

すること。
 P314 気分が悪い時は、医師の手当てを受けること。
 P391 漏出物を回収すること。
【保管】
 P405 施錠して保管すること。
【廃棄】
 P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
成分及び含有量	
[有効成分]	
化学名又は一般名	(RS)-[O-エチル S-プロピル (E)-[2-(シアノイミノ)-3-エチルイミダゾリジン-1-イル]ホスホノチオアート} (一般名 イミシアホス)
分子式(分子量)	C11H21N4O2PS (304.35)
CAS番号:	140163-89-9
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	化審法: — 安衛法: 8-(2)-2173
濃度又は濃度範囲	30%
[その他成分]	
化学名又は一般名	有機溶剤等
濃度又は濃度範囲	70%

4. 応急措置

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師の診断、手当てを受けさせること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を取り除き、石鹼と多量の水で洗い流すこと。皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合	直ちに水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	無理に吐かせないで直ちに医師の診断、手当てを受けさせること。
医療関係者への情報	本剤は有機リン系殺虫剤である。 中毒に対しては、硫酸アトロピン及びPAMの投与が有効であると報告されている。

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状放水
特有の危険有害性	火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。
-----------------------	---

環境に対する注意事項
回収・中和

封じ込め及び浄化方法・機材
二次災害の防止策

作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
立ち入る前に、密閉された場所を換気する。
必要な時以外は、環境中に放出してはならない。
不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。
危険でなければ漏れを止める。
すべての発火源を速やかに取除く。(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

飲み込みを避けること。

ミストや蒸気の吸入を避けること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保管 技術的対策

保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

保管条件

直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。

容器包装材料

施錠して保管すること。

ポリエチレン製容器

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度

未設定

(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

空気中の濃度を制御するには、一般適正換気で十分である。

特別な換気要求事項はない。

保護具 呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具(保護マスク)を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋(不浸透性手袋)を着用すること。

眼の保護具

適切な眼の保護具(ゴーグル型保護眼鏡)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣(耐薬品性エプロン等)を着用すること。

衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态 形状

液体

色

暗青色

臭い

僅かな特異臭

pH

4.87

比重(密度)

1.112 (20℃)

オクタノール・水分分配係数

log Pow=1.64(原体)

引火点

159℃

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の条件下では安定。

危険有害反応可能性
避けるべき条件
混触危険物質
危険有害な分解生成物

通常の条件下では安定。
データなし
データなし
通常の条件下では生成しない。
加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性 経口	ラット経口LD50 300～2000 mg/kgに基づき、区分4とした。
経皮	ラット経皮LD50 >2000 mg/kgに基づき、区分外とした。
皮膚腐食性・刺激性	ウサギにおいて皮膚刺激性がみられなかったことから、区分外とした。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	ウサギにおいて軽微な刺激性であったことから、区分外とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	皮膚感作性: モルモットにおいて皮膚感作性がみられなかったことから、区分外とした。
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分1に分類されるイミシアホスをカットオフ値の10%以上含有することから区分1とした。
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1に分類されるイミシアホスをカットオフ値の10%以上含有することから、区分1とした。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	コイ LC50(96h) >1000 mg/L ミジンコ EC50(48h) 2.54 mg/L 藻類 ErC50(0-72h) >1000 mg/L
水生環境慢性有害性	急性有害性が区分2で、急速分解性の情報がないことから、慢性区分2とした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制 海上規制情報	IMOの規定に従う。
UNNo.	3082
Proper Shipping Name	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID,N.O.S.
Class	9
Packaging group	III
Marine Pollutant	yes
航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。
UNNo.	3082
Proper Shipping Name	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID,N.O.S.
Class	9
Packaging group	III
国内規制	輸送に関する国内法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。
特別安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に。重量物を上積みしない。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	該当しない
労働安全衛生法	8-(2)-2173(イミシアホス)
毒物および劇物取締法	第2条 劇物
農薬取締法	第23275号
消防法	危険物第四類第三石油類水溶性液体

16. その他の情報

財団法人 日本中毒情報センター

散布作業中や散布後に異常を感じた場合は、直ちに医師の手当てを受けてください。
処置法などで不明なことは、医師から下記に電話してお尋ねください。

中毒110番	一般市民向け	医療機関専用有料電話 (1件につき2,000円)
大阪 (365日, 24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日, 9~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999

1. 記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
2. 注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
3. 記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。